

I. 法人の概要

1. 学校法人の沿革

- 昭和 26 年 6 月 愛知県より菊武タイピスト学校（現：菊武ビジネス専門学校）設置認可
- 昭和 28 年 2 月 愛知県より学校法人高木学園（現：菊武学園）設立認可
- 昭和 37 年 4 月 守山女子商業高等学校（現：菊華高等学校）開設
- 昭和 40 年 4 月 名古屋女子商科短期大学（現：名古屋経営短期大学）開設
- 昭和 43 年 4 月 守山女子商業高等学校に通信制課程開設
- 昭和 44 年 4 月 菊武幼稚園開設
- 昭和 63 年 4 月 名古屋女子商科短期大学に経営情報科開設
- 平成 4 年 4 月 守山女子商業高等学校を菊華高等学校と改称し、全日制課程普通科開設。
- 平成 7 年 4 月 ビジネス教養専門学校エクセレンス開設
- 平成 12 年 4 月 名古屋産業大学環境情報ビジネス学部開設
- 平成 16 年 4 月 名古屋産業大学大学院前期（修士）課程（環境マネジメント研究科）開設
名古屋産業大学環境情報ビジネス学部人間環境マネジメント学科増設
- 平成 19 年 4 月 名古屋経営短期大学ビジネス実務学科・人間情報学科の募集を停止し、2 学科を統合した形の総合ビジネス学科を開設。
名古屋産業大学大学院後期（博士）課程（環境マネジメント研究科）開設。
名古屋経営短期大学子ども学科開設。
- 平成 20 年 4 月 名古屋経営短期大学健康福祉学科開設。
- 平成 23 年 4 月 稲葉保育園開設、菊華高等学校にスポーツアクトコース開設
- 平成 24 年 4 月 ビジネス教養専門学校エクセレンスの校名を変更
専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院に改称する。
- 平成 26 年 4 月 名古屋経営短期大学総合ビジネス学科の募集を停止し、未来キャリア学科開設。
- 平成 27 年 2 月 菊華高校通信制課程普通科（単位制）開設認可
- 平成 29 年 4 月 名古屋産業大学 環境情報ビジネス学部を現代ビジネス学部へ改称
- 平成 30 年 3 月 名古屋産業大学現代ビジネス学部へ経営専門職学科設置認可申請

2. 設置する学校の学部、学科および各学校の入学定員、現員数

平成 29 年 4 月 1 日現在

学 校 名	学部・学科・課程名等	入学定員	収容定員	入学者数	現員数
名古屋産業大学大学院	環境マネジメント研究科	前期課程 10 人	20 人	1 人	9 人
	環境マネジメント専攻	後期課程 3 人	9 人	1 人	3 人
名古屋産業大学	現代ビジネス学部				
	現代ビジネス学科	190 人	785 人	156 人	456 人
名古屋経営短期大学	未来キャリア学科	100 人	200 人	63 人	148 人
	子ども学科	80 人	240 人	40 人	111 人
	健康福祉学科	60 人	120 人	26 人	51 人

学 校 名	学部・学科・課程名等	入学定員	収容定員	入学者数	現員数
菊華高等学校	全日制課程情報ビジネス科	270 人	810 人	59 人	179 人
	全日制課程普通科	90 人	270 人	253 人	679 人
	通信制課程商業科	150 人	450 人	160 人	482 人
	通信制課程普通科(単位制)	80 人	240 人	13 人	40 人
菊武幼稚園		69 人	209 人	73 人	213 人
菊武ビジネス専門学校	商業実務専門課程	80 人	80 人	17 人	17 人
	商業実務高等課程	240 人	720 人	160 人	482 人
専門学校名古屋リエンジニアリング &フラワー・ビューティ学院	商業実務専門課程	160 人	280 人	142 人	282 人
	文化教養専門課程	40 人	80 人	23 人	39 人
合 計		1,622 人	4,513 人	1,187 人	3,191 人

3. 役員に関する事項

当学園の平成 30 年 3 月 31 日現在の選任区分別理事及び監事は以下のとおりです。

寄附行為の理事定数は 8~11 人、監事定数は 2~3 人で、欠員はありません。

- 1号理事（教職員）： 高木 弘恵、山岸 鳴門、鈴木 悦子
2号理事（評議員）： 井元 明正、渡邊 哲郎
3号理事（学識経験者）： 高木 清秀、吉田 雅樹、岡谷 篤一、伊藤 雅一、山口 淳
監 事： 青木 修（常勤）、那須 國宏（非常勤）、澤田 忠男（非常勤）

但し、平成 30 年 3 月 23 日の評議員会で、3号評議員であり2号理事でもあった井元 明正氏が任期満了により3号評議員を退任されることに伴い、2号理事として山口 淳氏が選任されましたので、評議員会の後で開催された理事会において井元 明正氏は、3号理事に選任されています。

4. 評議員に関する事項

当学園の平成 30 年 3 月 31 日までの選任区分別評議員は以下のとおりです。

寄附行為の評議員定数は、19~24 人で、欠員はありません。

- 1号評議員（法人職員）： 高木清秀、山口 淳、石原 靖章、内山哲治
水野武文、杉村邦彦、神谷 篤、天野雪代
2号評議員（学園卒業者）： 浅井明己、大石清美
3号評議員（学識経験者）： 高木重幸、井元明正、池田英二、竹内隆史 平本晴康
渡邊哲郎、高木秀典、高木弘恵、原田隆史、大嶋啓介
市橋 豊、杉山寿美、中川信子、志水暎子

但し、平成 30 年 3 月 23 日の理事会で、3号評議員の井元 明正氏が任期満了により退任されることに伴い後任の3号評議員に名古屋産業大学のOBである須崎 徳之氏が選任されています。

5. 教職員・その他に関する事項

平成 29 年度は、所属長（学長、校長、園長）の変更はありませんでした。

II. 事業の概要

1.平成 29 年度の入学者数

平成 29 年度の入学者数は、大学は大学院も含めて 53 名の増、短大は 10 名の減、高校（全日制・通信制）で 15 名の増、幼稚園は変わらず、菊武ビジネス専門学校は 7 名の減、専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院は 3 名の減で学園全体の入学者数としては、48 名の増加となりました。

平成 29 年 4 月の在籍者数は、大学は 49 名の増、短大は 3 名の減となりました。高校（全日制・通信制）も 1 名の減、幼稚園は 3 名の減、菊武ビジネス専門学校は 15 名の減、専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院は 23 名の減となりましたが、学園全体の在学生総数は前年度より 4 名多い 3,191 名となりました。

2.平成 29 年度のその他の事業概要

【学園本部】

29 年度も例年のごとく、計 6 回の学園研修を実施しました。

4 月：「29 年度の学園の教育・運営方針と新年度の目標値説明、各部門の新年度の重点取組み」

6 月：スポーツ交流「インディアカのトーナメント方式による部門別対抗試合」

8 月：「菊武夏まつり」、

9 月：スペインギター演奏と「スペイン音楽と音楽トーク」の講演

1 月：「年始の挨拶・講演～学生・生徒を引き付けるコミュニケーションの取り方～」

と甘酒と切り餅の磯部焼き懇親パーティー

3 月：「優秀教職員の表彰と懇親会」

【名古屋産業大学】

大学では、学生向けクレドを作成し、**Manners**「大学生としてのマナーを守ろう!」、**Enjoy**「学生生活を楽しもう!」、**Internship**「インターンシップに参加しよう!」、**Social**「社会貢献をしよう!」、**Active**「積極的に行動しよう!」、**New Challenge**「新たな学びに挑戦しよう!」を学生に訴えるとともに、ゼミ担当教員による面倒見のよい教育の徹底、社会人基礎力の醸成、インターンシップ参加率の向上、組織の簡素化と教職員の一体化、明るい校風づくりに取り組みました。

4 月：学外オリエンテーション

5 月：新入生ビーチボールバレー大会

6 月：尾張旭市・JA と連携した「田んぼアート」、

8 月：尾張旭懇話会、「四短教職員合同 FD・SD 研修

9 月：台湾国立体軀大学とのボクシング交流、秋学期学位記授与式

10 月：長期・短期インターンシップ（就業体験）合同報告会

12 月：四短合同 KIKUTAKE ルミナ、社会人基礎力グランプリ、環境フォーラム

1 月：高大連携フォーラム

3月：学内合同企業説明会、四短合同東北ボランティア」

課 外 活 動

5月：全日本女子学生ウェイトリフティング選手権大会において2年生の山本真鼓選手が58kg級で優勝し、五輪合宿の代表となる。全日本学生ウェイトリフティング個人選手権大会において4年生の服部智成選手が85kg級で3位に入賞。

第53回東日本ボウリング選手権大会では団体3位に入賞。

第15回西日本学生女子ウェイトリフティング大会において女子58kg級で山本真鼓選手が2位、女子75kg級で宮本真帆選手が3位に入賞。

8月：ボウリング部「全日本大学王座決定戦」で優勝、大学日本一に復活。

11月：全日本大学対抗ウェイトリフティング選手権大会（全日本インカレ）で4年生の服部智成選手が85kg級で、2年生の前田翔哉選手が62kg級で銀メダルを獲得。

東京オリンピックに向けた日韓中合同大会のウェイトリフティング選手団に2年生の山本真鼓選手と大学院1年の山門正宜選手が選手として、職員の鈴木大智氏が指導者として参加し、山本真鼓選手が58kg級で3位、山門正宜選手が85kg級で2位に入賞。

12月：西日本スピードスケート競技会一般男子の部5,000mで高野晃生選手（1年）が優勝、3,000mと500mで山田拓夢選手（1年）が2位と5位に入賞、石垣賢汰選手（2年）は500mで6位に入賞。

環境教育プロジェクトチーム（教員6名、大学院生5名）が環境大臣表彰。

【名古屋経営短期大学】

短大でも学生向けクレドを作成し、Network「3学科の絆を深め」、Mind「愛情豊かな心を持ち」、Job「職業教育で実践力を身に付け」、Challenge「多くのことに挑戦しよう！」と学生に訴えとともに、就職率100%・資格取得率100%となる教育の質の向上、地域に開かれた教育活動、教職員連帯感の向上に取り組みました。

4月：新入生宿泊オリエンテーション、東北ボランティア報告会

5月：学内合同福祉施設説明会（28団体参加）、
ゼミ対抗ビーチボールバレー大会

8月：四短教職員合同FD・SD研修と懇親会、海外語学研修（ハワイ）

10月：尾張旭市旭ヶ丘自治体秋祭り出展

11月：介護の日イベント出展、健康気象セミナー参加、介護学び直し講座開催

12月：四短合同KIKUTAKEルミナ、社会人基礎力グランプリ

3月：学内合同企業説明会、四短合同東北ボランティア

【菊華高等学校】

29年度は、学園の建学の精神である「職業教育をとおして社会で活躍できる人材の育成」を念頭に、校訓の「誠実・創造・健康」を日々の学校生活の中で実践的に指導し、意欲的に学習や諸活動に取り組み、充実した高校生活を送れるよう、より「わかりやすい授業」の展開、学習集団や授業内容の弾力的

な編成と計画、そして生徒一人ひとりの個性を伸ばし、幅広い選択肢と柔軟なシステムを備えた特色ある学校づくりや、魅力ある教育活動の創意工夫を行う。また、生徒の資質・能力をさらに伸ばす教育を一層推進し、社会で活躍できる人材を育成するとともに、生徒の多様化・個性化、社会や時代の変化などに対応していく教育内容の改善・充実を図って、主体的な特色ある学校づくりを行い、生徒と保護者が満足する教育を目指す魅力ある学校作りに取り組みをしました。

重点取組

- 生徒の学力向上を目指し、授業改革と教員の授業力向上に力を入れ、各教科を中心に生徒に対して「わかる・できる喜び・学ぶ楽しさ」を感じさせられる生徒主体の授業づくりを目指し、教材研究に取り組みました。
- 集団生活を通して、社会人としての基本である規範意識・マナー・挨拶・言葉遣い・態度・服装等に常に注意を払うことを自らが自覚できる生徒指導をしました。また、自己の目標を実現させるために、学業や資格取得に積極的に取り組み、目標達成のため、普通科・情報ビジネス科及び各コースの魅力ある授業展開の中から特徴を強く打ち出し生徒募集に繋げられる教育を推進しました。
- 「いじめ防止対策委員会」を定期的開催して教員間の連携を密にし、いじめ防止に全力である。特に「いじめ問題」が発生したときには、「いじめ防止対策委員会」を中心にその対応にあたる。そして何より事前の指導による防止に心がけ、誤った対応を取らないように、細心の注意を払った生徒指導に心がけ、起きた事象については正確かつ詳細な記録を時系列で取るよう心がけました。
- 転・退学率については、数年前から徐々に下がってきており、一昨年度は多様な理由で一旦上昇したが、昨年度は教職員の一方ならぬ努力により減少に転じた。しかし、まだ愛知県内の私学の中では高い方なので、引き続き生徒の動向や普段の行動を注意深く観察し、家庭の問題や生徒間のトラブルなどを早期に察知して不登校等を未然に防ぎ、退学・転学する生徒を減少させ退学率を下げる取り組みを推進しました。

主な学校行事

- 4月：1年生校外オリエンテーション合宿（車山高原）、携帯・スマホ安全利用講習
- 5月：全統マーク模試、薬物講習（1年）、保育園実習（1年 福祉保育コース）
- 6月：PTA 研修会（南信州）
- 8月：夏の体験会講座、16回目の中学将棋選手権大会
- 9月：避難訓練、学校祭（文化祭、体育祭）
- 10月：秋の学校体験会
- 11月：1・3年遠足、2年は修学旅行（沖縄）、学校説明会
- 12月：校外美化清掃、学校説明会
- 1月：3年スポーツクラス スキー合宿（車山高原）、3年アクトクラス 卒業公演（守山文化小劇場）
- 2月：3年生を送る会、1・2年生アクトコース生徒 オーディション

課外活動

- 4月：ソフトテニス 高校総体予選名古屋北地区 優勝 団体・個人5ペア 県大会出場

- 5月：ソフトテニス女子個人1ペア、ボクシング1名、水泳1名全国大会（インターハイ）
出場決まる
- 6月：ソフトテニス部、ボクシング部 東海大会出場。インターハイ出場決定。
- 7月：ボクシング部 金城隼平選手 国体愛知県大会優勝 国体出場を決める。ソフトテニス部
インターハイ出場。ソフトボール部 名古屋市選手権 優勝
- 8月：ダンス部、全日本高校ダンスフェスティバルに出場。ソフトテニス部 名古屋市民スポーツ祭
優勝 サッカー部 全国高校サッカー選手権大会 県大会出場
- 9月：ボクシング部 金城隼平選手 国体出場 ソフトテニス部 名古屋北支部で団体優勝、
サッカー部 名古屋北支部で優勝。
- 10月：インターンシップ（昼神温泉） 8名参加
- 11月：ボクシング部 金城隼平選手 県新人大会 優勝 東海大会出場決まる
ソフトテニス女子 県新人大会 団体3位 インドア東海選抜出場
- 12月：ボクシング 高岡元気（教員） 全日本社会人大会 3位入賞
インターンシップ（名古屋産業大学 学生食堂）に参加、ソフトテニス部 東海大会出場
- 1月：スケート部 1年武藤丹里 スピードスケートでインターハイに出場。
箏曲部が愛知県高等学校文化連盟発表会に出場で優秀賞、アネット賞を受賞
200日間自転車無事故無違反ラリー達成で守山警察署長より表彰を受ける
- 3月：3年福祉コース卒業研修（蒲郡）を実施、箏曲部が「旭労災病院」で公演

【菊武ビジネス専門学校】

29年度も、【入口（渉外部）】、【中身（指導部、教務、学年）】、【出口（進路指導部）】それぞれに
目標を掲げ、その達成に向けて全教職員一致団結して全力投球で取り組みました。

【入口（渉外部）】目標

高等課程 240人、専門課程 20人、単位制 20人の入学者確保。

- ① 親子で参加できる機会を増やし、体験入学により多くの保護者の来校を促す。
- ② 安心して学べる学校のアピールなど中学校の先生への認知度の向上。
- ③ ホームページのリニューアルなど保護者の認知度の向上。

【中身（指導部、教務、学年）】目標

- ① ご近所の声。在校生の保護者、卒業生的心声を大切にする。
- ② 中学校の先生に落ち着いて過ごせる学校、面倒見の良い学校の評判を定着させる。
- ③ 保護者が安心して菊武に送ってくれるような学校づくり。

【出口（進路指導部）】目標

- ① 全員卒業式までに進路決定。就職 100%、学園内進学 50人。企業からの評判の良い学校。

主な学校行事

- 5月：1年生オリエンテーション合宿（郡上八幡自然園）、2・3年生校外学習（長島スパーランド）
ちから館とくがわ訪問ボランティア、専門課程ボウリング大会、避難訓練
専門課程オリエンテーション合宿、
- 6月：学校周辺清掃ボランティア、専門課程准教員資格取得講習会、PTA 上級学校訪問
単位制校外学習（名古屋市科学館）
- 7月：ちから館とくがわ訪問ボランティア、映画鑑賞会（ウィルあいち大ホール）、保護者懇談会
専門課程特別教養講座（金融講座、陶芸体験講座）
- 8月：サマーキャンプ（あいち県民の森）39名参加
- 9月：東区防災訓練ボランティア、ちから館とくがわ訪問ボランティア、学校周辺清掃
- 10月：高等専修学校展参加、高岳児童館まつりボランティア、文化祭（学校内外）、体育祭
- 11月：赤い羽根共同街頭募金ボランティア、2年生修学旅行（北九州）、
- 12月：3年生京都旅行、1年生校外学習（名古屋港水族館）、芸術鑑賞会（ウィルあいち）
専門課程京都旅行、スノーボードスクール（斑尾高原スキー場）
- 1月：ちから館とくがわ訪問ボランティア、学校周辺清掃、
- 2月：愛知県高等学校ワープロ競技新人大会参加

課外活動

- 12月：全国専門学校卓球選手権大会の男子ジュニア・シングルで伊藤大地選手（3年）が優勝、左家成選手（1年）が準優勝、繁田蒼月夜選手（3年）と水野怜音選手（1年）の2人が3位に入り、男子ダブルスでも繁田・水野組が3位を獲得。
- 2月：名古屋商業高校で開かれた第23回愛知県高等学校ワープロ競技新人大会に出場し、10分間に入力した文字数を競う「ワープロ速度競技」で、1年生の西村さんが敢闘賞、1年生の筒井さんが奨励賞を獲得したほか、団体でも奨励賞を獲得。

【専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院】

29年度も「美力向上」をテーマに以下の4項目に取り組みました。

- ① 学生収容数値目標 180名（B科 110名、F科 40名、TB科 30名）
- ② 3専攻（ビューティアドバイザー、エステティック、トータルビューティ）展開を売りにトータルビューティ科（TB科）の入学性増加
- ③ 学校説明会4月～9月 毎月4回実施を柱にしたOCへの保護者参加数増加
- ④ 早めの広報活動展開による2年生への訴求力向上

主な学校行事・教育活動

- 4月：新年度教職員全体会議、校内企業説明会（ブレスエット・ロゼ）、庭園見学、園芸実習
グリーンデザイン（星が丘テラス花壇植え込み）、業界研究（ホテルウェディングを学ぶ）
- 5月：業界研究（式場見学とフレンチマナー研修）、園芸実習（花き卸売市場見学）他

- 6月：造園実習、業界研究、模擬結婚式（3施設）、サービス接客検定、秘書検定、色彩検定
- 7月：造園実習、模擬結婚式、ビジネス文書検定、造園工事・園芸装飾・フラワー装飾試験、
- 8月：模擬結婚式、エステティックコンテスト スチューデント部門 中部・北陸大会出場
- 9月：ガーデニング（個人邸庭の施行実習）、造園実習（内々神社・永保寺日本庭園見学）、
園芸装飾（東山植物園植物見学）、グリーンデザイン（星が丘テラス花壇植え込み）
- 10月：本物の結婚式（1施設）、グリーンデザイン、校内模擬結婚式2回、文化祭
- 11月：技能五輪（栃木県）フラワー装飾部門に出場 安藤 優香さん敢闘賞受賞 他
- 12月：卒業研修旅行（ハワイ、ロスアンゼルス、沖縄）、パーソナルカラー検定
- 1月：本物の結婚式（第二富士ホテル）、ABC検定、陶芸作品製作体験、ホットヨガ体験 他
- 2月：卒業作品展（ナディアパーク）、模擬結婚式（第二富士ホテル）2回、秘書検定 他

【菊武幼稚園】

「徳育・体育・知育」の3つを軸に「仲良く遊ぶ子、心も体も強い子、よく見よく聞く考える子」ひいては「自身をもって小学校に進学できる子」を育てるため、〈感動ある行事の実現〉に取り組みました。

主な学校行事

- 5月：こどもの日の集い、歯科検診、春の親子遠足（落合公園）、年長防煙教室
- 6月：内科検診、避難訓練（地震・火災）、起震車体験、交通安全指導、ふれあい七夕まつり
- 7月：お楽しみ会、7月生まれ誕生会
- 8月：夏期特別保育、8月生まれ誕生会、菊武夏祭り参加
- 9月：避難訓練（地震・火災）、保育参観、9月生まれ誕生会、運動会総合練習
- 10月：運動会、いもほり、秋の遠足
- 11月：幼年消防クラブの発表、交通安全指導、11月生まれ誕生会、生活発表会練習
- 12月：生活発表会、クリスマス会、12月生まれ誕生会
- 1月：年長青空教室、交通安全指導、親子コンサート、避難訓練、1月生まれ誕生会
- 2月：豆まき、小学校見学、「ふれあい参観」（作品展・お店やさんごっこ）、2月生まれ誕生会
- 3月：ひなまつりの集い、年長卒園遠足（名古屋市科学館）、3月生まれ誕生会、園児お別れ会

【稲葉保育園】

「よく遊ぶ元気な子」を育てるため、〈自然とふれあい、元気になる遊び〉に取り組みました。

主な行事

- 4月：入園式、内科検診、サッカーボールで遊ぼう、園外保育、誕生日会、お花で遊ぼう
- 5月：こどもの日を祝う会、サッカーボールで遊ぼう、歯科検診、誕生日会、緑のカーテン種まき、
田植え、体力測定「ヘキサスロン」、お花で遊ぼう、園外保育（イチジク畑）
- 6月：眼科検診、保育参観（救急救命講習会、お花で遊ぼう）、さつまいも苗付け、誕生日会
- 7月：七夕会、サッカーボールで遊ぼう、お花で遊ぼう、粘土遊び、ヘキサスロン遊び
- 8月：園外保育（蝉取り）、お楽しみ会、イルカショー（年長児）、夏の演奏会（西中学校吹奏楽部）
- 9月：シェイクアウト訓練、サッカーボールで遊ぼう、交通安全教室、花で遊ぼう、ふれあい会、
イチジク畑見学、誕生日会

- 10月：内科検診、月見茶会、稲刈り、サッカーボールで遊ぼう、運動会、誕生日会、芋掘り、読み聞かせ会「絵本・紙芝居」
- 11月：焼き芋会、修園遠足、保育参観（おにぎりパーティー）、サッカーボールで遊ぼう、音で遊ぼう、粘土遊び、お花で遊ぼう、誕生日会
- 12月：防火指導、陶芸焼成（年長児）、花もち作り（年長児）、歯磨き指導、サッカーボールで遊ぼう、お花で遊ぼう、クリスマスマーケット、誕生日会、クリスマス会、園外保育（さんさん農園）
- 1月：地元のお年寄りの指導で凧作り凧揚げ、お花で遊ぼう、粘土遊び（年長児）、サッカーボールで遊ぼう、陶芸遊び（年長親子）、誕生日会、防犯訓練、避難訓練
- 2月：節分会（豆まき）、サッカーボールで遊ぼう、身体測定、生活展、お花で遊ぼう、誕生日会、園外保育（年長児・本地原小学校）、防犯訓練、避難訓練

1. 平成 29 年度の主な契約

名古屋産業大学：出欠情報取扱システム保守契約、車両（バス）メンテナンスリース契約、マイクロソフト・トレンドマイクロ（スクールアグリーメント）売買契約
デュプロ印刷機（デュプリンタ）リース契約、人工芝敷設工事請負契約
シャワー室新築工事請負契約、ガス需給契約、ガスヒーポン保守契約
女子野球・女子サッカー・男子サッカー部室新設工事請負契約
サッカー場ナイター照明取替工事契約、ジョイスウンドワゴン売買契約、アクティブラーニング（学生ホール）・3号館 1,2階家具一式売買契約
スチューデントコモンズ（学生食堂）家具一式及び設置費一式売買契約

名古屋経営短大：マイクロソフト・トレンドマイクロ（スクールアグリーメント）売買契

菊 華 高等学校：学納金管理システム保守サービス契約、広告物掲出契約、ノート PC 売買契約、学校案内パンフレット制作請負契約、体育館耐震診断業務請負契約、北館棟東側 1・2階トイレ会異臭工事請負契約、スポーツロッカー売買契約、高圧機器更新（高圧ケーブル・VCB・SC）請負契約、印刷機リース契約、産業廃棄物収集・運搬委託基本契約及び産業廃棄物処理委託契約、ボクシング場換気扇取付・外壁板金・ボクシングリング拡張工事請負契約

菊 武 幼稚園：男子トイレ改修工事請負契約、自動体外式除細動器売買契約

菊 武 ビジネス：1M、2M、3M、4M、5M、サーバ室、教育準備室、事務室情報機器保守契約
ソフトウェアライセンス（年間）売買契約、1号館耐震改修設計業務請負契約

N W F B：バイオウォーター等取付工事請負契約、フラワーポット保守点検契約、印刷機保守契約、空調室内機加湿器増設工事請負基本契約、商品（ベルシェイプ用機器一式）売買契約

Ⅲ. 財務の概要

1. 経年比較

当年度の決算について、前年度決算と比較しながら若干の説明を付してその概況をご報告いたします。なお、金額は千円未満を四捨五入して示しています。

(1) 資金収支計算書

(資金収入の部)

(単位：千円)

科 目	28年度決算	29年度決算	差 異	
学生生徒等納付金収入	1,700,099	1,740,013	39,914	入学者数・在籍者数ともに前年度を上回り、学生生徒等納付金収入が増えました。
手数料収入	26,719	26,093	△626	
寄付金収入	6,282	4,060	△2,222	施設設備関係の特別寄付金がなくなり、減少しました。
補助金収入	579,210	638,737	59,527	
資産売却収入	200,000	210,000	10,000	
付随事業・収益事業収入	19,687	9,405	△10,282	在籍者増で国及び地公体の一般経常費補助金が増えるとともに、私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金の採択で国の特別補助金が増えました。
受取利息・配当金収入	7,310	8,283	973	
雑収入	118,837	28,311	△90,526	県の介護人材確保事業による短大での職業訓練生の受入れが少なくなり減少しました。
前受金収入	455,679	437,310	△18,369	
その他の収入	189,282	308,879	119,597	
資金収入調整勘定	△577,418	△506,245	71,173	前年度に比べ定年退職者が少なくなったため、退職金財団よりの交付金が少なくなりました。
当年度資金収入合計	2,725,687	2,904,846	179,159	
前年度繰越支払資金	1,370,983	1,266,878	△104,105	2号基本金に係る引当特定特定資産の出し入れが多く、増加しました。
収入の部合計	4,096,670	4,171,724	75,054	

(資金支出の部)

(単位：千円)

科 目	28年度決算	29年度決算	差 異	
人件費支出	1,732,453	1,613,517	△118,936	定年退職者が少なく退職金支出が98百万程減少しました。
教育研究費支出	429,689	454,485	24,796	
管理経費支出	199,064	201,522	2,458	経費節減に努力しましたが、奨学金で12百万増、大学の教育研究活性化事業関係で14百万の増となりトータルで増加。
借入金等利息支出	1,920	1,320	△600	
借入金等返済支出	115,657	56,456	△59,201	借入金等返済は、新規借入が無く、返済の進行で毎年度減少しています。
施設関係支出	131,043	46,180	△84,863	
設備関係支出	45,972	32,744	△13,228	校舎耐震化工事及のような大型工事が無くなり施設関係投資を抑制しましたので大幅に減少しました。
資産運用支出	220,066	400,726	180,660	
その他の支出	108,520	155,804	47,284	
資金支出調整勘定	△154,593	△36,209	118,384	2号基本金関係の特定引当特定資産の振替等多くの特定引当資産を動かしましたので増加しました。
当年度資金支出合計	2,829,792	2,926,545	96,753	
次年度繰越支払資金	1,266,878	1,245,179	△21,699	前期は退職者が多く、前期末未払金となっていた退職金の支払いをしましたので、増加しました。
支出の部合計	4,096,670	4,171,724	75,054	

(2) 活動区分資金収支計算書

		(単位 千円)	
科 目		金 額	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金	1,740,013
		手数料収入	26,092
		一般寄付金収入	4,060
		経常費等補助金収入	637,012
		付随事業収入	9,404
		雑収入	27,836
		教育活動資金収入計	2,444,417
	支出	人件費支出	1,613,517
		教育研究費支出	454,485
		管理経費支出	201,028
		教育活動資金支出計	2,269,030
	差引	175,387	
	調整勘定等	△ 18,251	
教育活動資金収支差額	157,136		
施設設備活動	収入	施設設備補助金収入	1,726
		施設設備売却収入	2
		施設設備等活動資金収入計	1,728
	支出	施設関係支出	46,180
		設備関係支出	32,744
		施設設備等活動資金支出計	78,924
	差引	△ 77,196	
	調整勘定等	△ 15,021	
	施設設備等活動資金収支差額	△ 92,217	
小計(教育活動資金収支差額+施設設備等活動資金収支差額)	64,919		
その他の活動による資金収支	収入	有価証券 売却 収入	210,000
		受取利息・配当金収入	8,283
		過年度修正収入	475
		預り金受入収入	6,634
		高校耐震化引当特定預金より繰入収入	20,000
		菊専校地購入引当特定預金より繰入収入	130,000
		特別研究特定預金より繰入収入	66
		長期貸付金回収 収入	310
		その他の活動資金収入計	375,768
	支出	過年度修正支出	494
		借入金等利息支出	1,320
		借入金等返済支出	56,456
		有価証券 購入 支出	210,000
		高校耐震化引当特定預金へ繰入支出	60,000
		菊専耐震化引当特定預金へ繰入支出	130,000
		退職給与引当特定資産繰入支出	663
		特別研究特定資産繰入支出	63
		預り金支払支出	3,388
		仮受金支払支出	2
		その他の活動資金支出計	462,386
差引	△ 86,618		
その他の活動資金収支差額	△ 86,618		
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 21,699		
前年度繰越支払資金	1,266,878		
翌年度繰越支払資金	1,245,179		

活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

項 目	(単位 千円)			
	資金収支 計算書計上額	教育活動 による資金収支	施設設備等活動 による資金収支	その他の活動 による資金収支
前受け金収入	437,310	437,310	0	0
— 授業料 前受金 収入	198,851	198,851	0	0
— 入学金 前受金 収入	141,389	141,389	0	0
— 施設充実費前受金収入	26,840	26,840	0	0
— その他の前受金 収入	70,230	70,230	0	0
前期末未収入金 収入	152,073	148,482	3,591	0
期末 未収入金	△ 50,771	△ 50,771	0	0
前期末 前受金	△ 455,679	△ 455,679	0	0
収 入 計	82,933	79,342	3,591	0
前期末未払金支払支出	130,344	130,344	0	0
前払金支払支出	3,459	3,459	0	0
期末長期未払金支払支出	18,612	0	18,612	0
期末未払金	△ 31,482	△ 31,482	0	0
期末長期未払金			0	0
前期末 前払金	△ 4,728	△ 4,728	0	0
支 出 計	116,205	97,593	18,612	
収入計 - 支出計	△ 33,272	△ 18,251	△ 15,021	0

(3) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算について資金収支計算と重複する部分は省略し、資金収支計算で説明していない部分の説明を加えてその内容をご報告いたします。

(単位：千円)

		科 目	28年度決算	29年度決算	差 異	
教育活動収支	事業活動収入の部	学制生徒等納付金	1,700,099	1,740,013	39,914	試験料、照明手数料は増加しましたが、入学検定料が減少しました。
		手数料	26,755	26,136	△619	
		寄付金	7,312	5,294	△2,018	一般寄付金が2百万減少しました。
		経常費等補助金	573,799	637,012	63,213	私立大学等教育活性化設備整備費補助金の採択で国庫補助金が40百万円の増、地公体補助金が23百万円程の増となりました。
		付随事業収入	19,687	9404	△10,283	
		雑収入	118,718	28,039	△90,679	
		教育活動収入 計	2,446,370	2,445,898	△472	
	事業活動支出の部	人件費	1,714,843	1,611,462	△103,381	補助活動収入、公開講座収入、講習会収入はそれぞれ微増となりましたが、受託事業収入(県の介護人材確保事業)が職業訓練生の受け入れが少なくなり半減しトータルで減少。
		(うち退職金関係)	(95,437)	(12,526)	(△82,911)	
		教育研究経費	692,333	723,452	31,119	県の退職金財団加入の退職者が減少したため退職金支出が68百万程減少し、退職給与引当金繰入支出が14百万減少しました。
		(うち減価償却費)	(262,515)	(268,921)	(6,406)	
		管理経費	229,249	228,935	△314	減価償却は減少しましたが、経費増があってトータルでは微減となりました。
		(うち減価償却費)	(30,158)	(27,758)	(△2,400)	
		徴収不能額等	364	648	284	
教育活動支出 計	2,636,789	2,564,497	△72,292			
教育活動収支差額		△190,419	△	△		
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	7,310	8,283	973	低金利政策下安全・有利な資金運用は難しく、受取利息・配当金は、少ししか増えませんでした。
		教育活動外収入 計	7,310	8,283	973	
	支出の部	借入金等利息	1,920	1,320	△600	借入金が返済一方のため支払利息も減少一方です。
		教育活動支出 計	1,920	1,320	△600	
教育活動外収支差額		5,390	6,963	1,573		
経常収支差額		△185,029	△111,636	73,393		
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	2	2	大型工事がなく施設設備関係補助金が大幅減。
		その他の特別収入	6,708	3,103	△3,605	前年度のような改修工事での未償却部分の処分損は減少しましたが、減価償却をしない図書処分損が発生したため資産償却差額はそれほど減少しませんでした。
		特別収入 計	6,708	3,105	△3,603	
	支出の部	資産処分差額	15,817	10,901	△4,916	
		その他の特別支出	0	494	494	
		特別支出 計	15,817	11,395	△4,422	
特別収支差額		△9,109	△8,290	900		
基本金組入前当年度収支差額		△194,138	△119,927	74,211	固定資産投資は前年度より98百万ほど減少しましたが、資産除却も前年度より74百万ほど減少しましたので、基本金組入額としては増加になりました。	
基本金組入額合計		△91,782	△116,258	24,476		
当年度収支差額		△285,920	△236,185	49,735		

(4) 貸借対照表

貸借対照表について、前年度からの増減の主なものの説明を付してご報告いたします。

科 目		28年度決算	29年度決算	差 異		
資 産	固定資産	13,025,007	12,838,693	△186,314	有形固定資産は大型投資が一段落し、減価償却が新規取得を上回ったため簿価減少。	
	有形固定資産	10,972,836	10,746,128	△226,708		
	特定資産	2,029,403	2,070,063	40,660		高校の校舎耐震化工事のため 2号基本金引当特定預金を積み立てたため増加。
	その他の固定資産	22,768	22,502	△266		
産	流動資産	1,458,822	1,334,098	△124,724	前々年度の期末退職者に対する退職金財団交付金の未収入金を受け取ったため未収入金が 102百万減、現金預金が 22百万の減。	
	合 計	14,483,829	14,172,791	△311,038		

科 目		28年度決算	29年度決算	差 異	
負 債	固定負債	506,156	442,276	△63,880	長期借入金△43百万、退職給与引当金△2百万、長期未払金△18百万
	流動負債	784,171	656,940	△127,231	
	計	1,290,327	1,099,216	△191,111	前々年度の期末退職者（退職金は翌月払）の退職金（期初は未払金）を支払ったため未払金が 99百万減、短期借入金 13百万減、前受金 18百万減、預り金 3百万増で合計 127百万ほど減少しました。
	基 本 金	17,881,266	17,997,524	116,258	
	事業活動収支差額の部合計	△4,687,764	△4,923,949	△236,185	1号基本金 81百万増、2号基本金 40百万増、4号基本金 5百万減。
	合 計	14,483,829	14,172,791	△311,038	

(参考)

正 味 資 産	13,193,502	13,073,575	△119,927
---------	------------	------------	----------

※ 正味資産＝資産－負債（＝基本金＋事業活動収支差額）

減価償却額の累計額	6,972,160	7,231,647	259,487
-----------	-----------	-----------	---------

1. 借入金の状況

当学園の借入金は下表のとおりです。22年度より愛知県私学振興事業財団から新規の授業料軽減借入をすることがなくなり、授業料軽減借入金は毎年減少していきませんが、菊華高校で授業料軽減借入金として¥17,651,474の借入残を有しております。しかし、この授業料軽減借入金は、償還に要する財源を愛知県から授業料軽減借入金償還補助金及び施設設備整備費借入金償還補助金として全額補填を受けることになっていますので学園としての返済負担は発生しないものです。

(借入金明細表)

(単位：千円)

借 入 先	28年度末残高	29年度末残高	増 減	摘 要
日本私立学校振興・共済事業団	120,000	90,000	△30,000	キタクスポーツビルズ取得資金
愛知県私学振興事業財団	44,108	17,652	△26,456	愛知県より全額補填あり
合 計	164,108	107,652	△56,456	

2. 学校債の状況

当学園は、学校債を発行いたしておりません。

3. 寄付金の状況

当学園に対する寄付金は28年度8,415千円でありましたが29年度は6,196千円となりました。現物寄付は前年度並みでしたので、ほとんどが一般寄付金の減少によるものです。

IV. 決算期後に生じた学校法人の状況に関する重要な事実

該当する事実はありません。

V. 対処すべき課題

「2018年を迎え、年々厳しくなる学生・生徒・園児募集にどれだけ成果を挙げられるか？」言い換えれば「各部門が収入を安定的に確保し自立すること」が対処すべき最優先課題であることに変わりありません。特に大学・短大で入学者を確保することが喫緊の課題です。